



IXIL ラシッサ 上吊引戸 (NC90)

取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

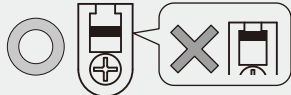
■守っていただきたいこと

▲注意 …施工を誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。扉が脱落するおそれがあります。



保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉に支障きたすので、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープは表面シートに貼ると、はがす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置きでの長期保管はソリ・ねじれとなるので、寝かせた状態にしてください。
- 本体損傷防止のため、建築工事中は、施工後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品

片引き用本体	片引き用枠
	片引き用床見切り

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	吊車を枠組立て時にレールに正しい向きで入れましたか?	<input type="checkbox"/>
2	 枠取付け後に全ての受け金具を緩みなく正しいねじで固定しましたか? (ソフトモーション仕様のみ)	<input type="checkbox"/>
3	吊車を最後(レバーが下がる)まで押し込みましたか?	<input type="checkbox"/>



このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

1 開口部の作り方

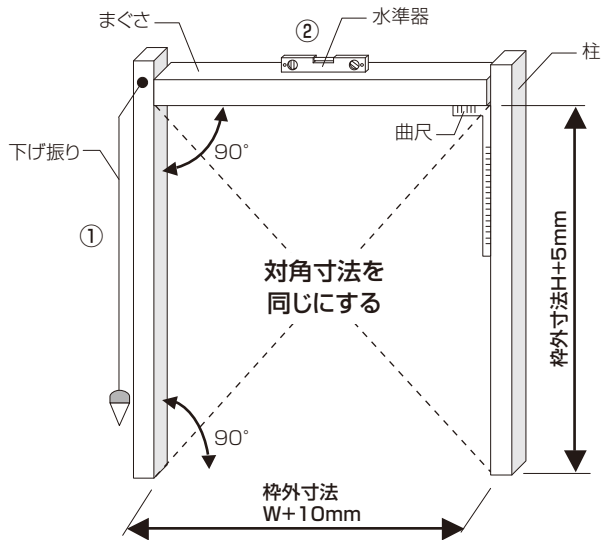
開口部施工上のお願い

- 製品不具合となるので、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。
- 躯体の強度不足は、垂下りとなるので、本体40kg/枚の強度を確保してください。
- 片引戸の小壁は枠を取付けてから施工してください。

【軽量鉄骨に施工する場合】

開閉不良となるため、同梱のねじを使用してください。
 軽量鉄骨との干渉を避けるため、必ず40mm以上の木枠を入れてください。

- ①開口は、枠外寸法に対して高さ：+5mm、幅：+10mmとしてください。
- ②開口は必ず、水平垂直にしてください。



■対応壁厚について

(単位：mm)

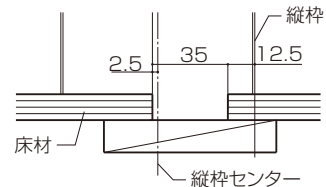
ノンケーシング	見込み	対応壁厚
	NC90	64~70

2 床の張り方

■床見切り

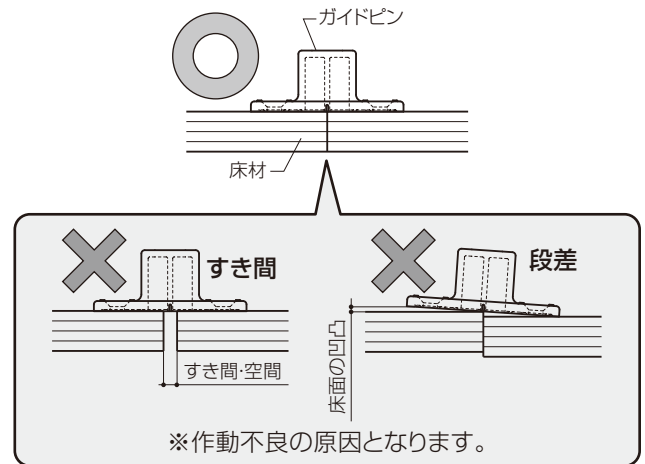
- ①床材を、下記寸法に合わせてすき間をあけて張ってください。

中縦枠側



■ガイドピン

- ①床材は段差なく、すき間なく張ってください。



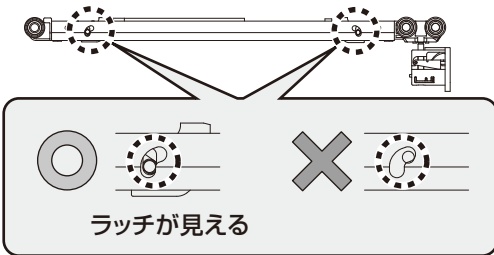
3 枠の組立て(吊車の挿入)

枠組立て上のお願ひ

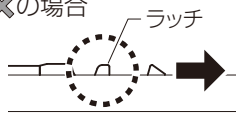
- 製品脱落・枠の垂れ下がり・ゆがみとなるので同梱のねじを使用してください。
- 本体吊込みができなくなるので、枠組立て前に吊車をレールに挿入してください。
- ソフトモーション付き吊車は作動不良になるので、正しい向きに入れてください。

①鴨居レールに吊車を指定の向きに挿入してください。

●吊車の挿入前確認(ソフトモーション付)



※ X の場合



ラッチを引っ張り
正常位置へ戻す。

■枠部品セット

		ソフトモーション仕様	ブレーキ仕様
縦組立て用皿小ねじM4×50		4	4
縦枠取付け用DNねじφ3.8×50		6	6
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50			7
鴨居・受け金具取付け用低頭2条ねじφ4×50		12	
ガイドピンセット(ねじ同梱)		1	1
吊車(ソフトモーション付)		1	
吊車		1	2
ソフトモーション受け金具		2	
穴埋めシールシート		1	1

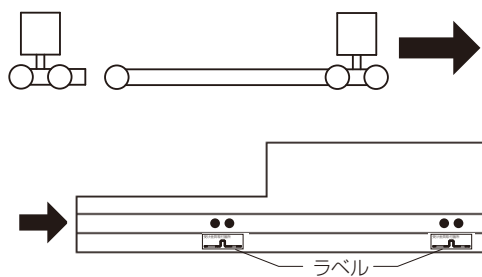
※接着剤、かくし釘は現場手配。

※図はL勝手

ソフトモーション仕様
吊車

ブレーキ仕様
吊車

●ソフトモーション仕様 吊車挿入向き



受け金具固定穴

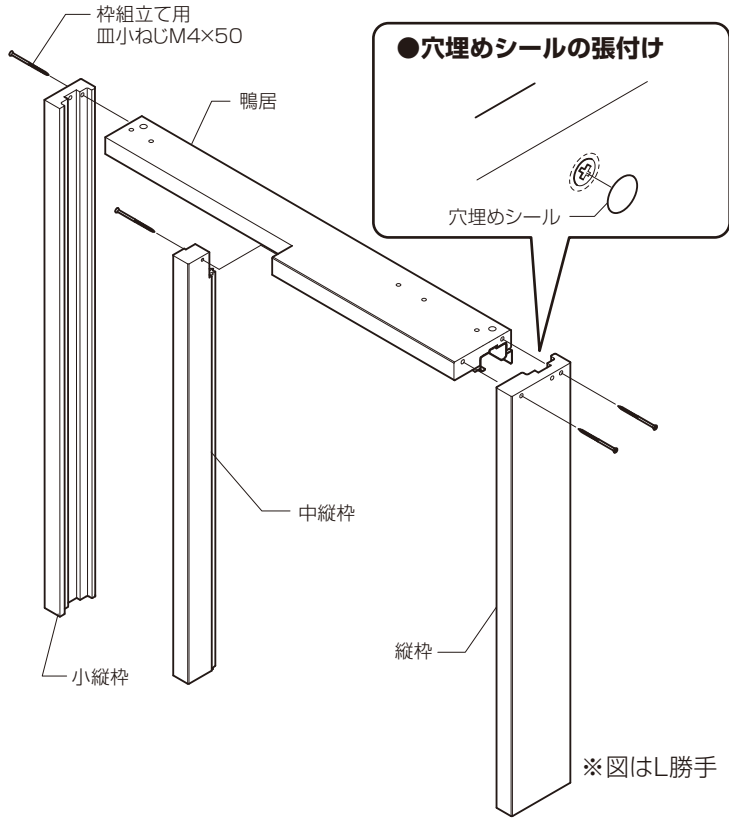
ラベル

受け金具取付箇所

※作業しやすいように鴨居レールは天地逆にしています。

4 枠の組立て

- ①下図のように同梱のねじで枠を組み立てます。
※吊車は枠組立て前に必ず挿入してください。
- ②組立てねじ部に穴埋めシールを張付けてください。



目枠の取付け

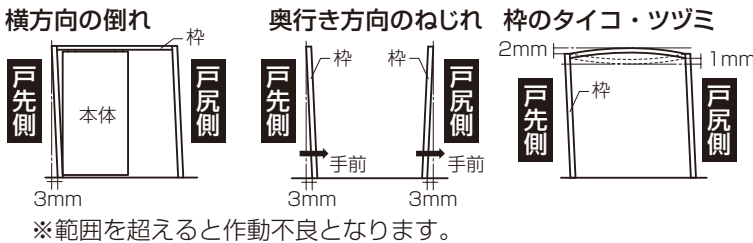
枠取付け上のお願ひ

- 製品脱落・開閉不良になるので、必ず同梱の指定ねじを使用してください。
 - 床面がコンクリートやモルタルの場合は、防水処理をしてください。
 - 枠は必ず水平垂直に取付けしてください。
 - 枠と躯体の間に、かい木の表裏に接着剤(※)を塗布してねじ固定部に入れてください。
 - 本体作動不良になるので、鴨居固定ねじは締めすぎないでください。
 - 枠固定時、ソフトモーションを機能させるため、吊車は受け金具の中間に入れてください。
 - 受け金具は緩み防止のため、鴨居固定後に固定してください。
- ※現場手配

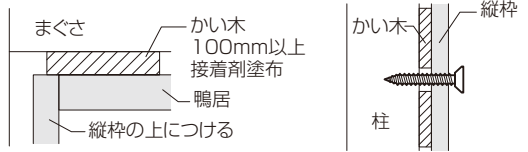
- ①枠と躯体の間にかい木をいれて縦枠、鴨居を指定のねじで固定してください。
ブレーキ仕様：鴨居戸尻側の補強板から固定してください。
ソフトモーション仕様：受け金具の中間に吊車を入れて、鴨居固定後に受け金具を固定してください。
 - ②中縦枠は、接着剤(※)を塗布して、かくし釘(※)で固定してください。床見切りの場合、中縦枠位置ラベルに合わせて中縦枠を固定してください。(部材取付はP5参照)
 - ③幅木は、裏面に接着剤(※)を塗布し、かくし釘(※)(約300mmピッチ)で固定してください。
- ※現場手配

●取付け精度について

下図の範囲内で必ず取付けしてください。

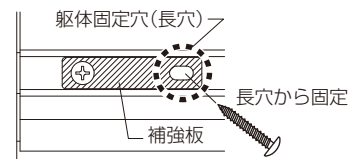


●かい木について

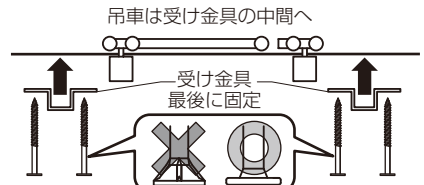


●鴨居の部品固定について

・ブレーキ仕様



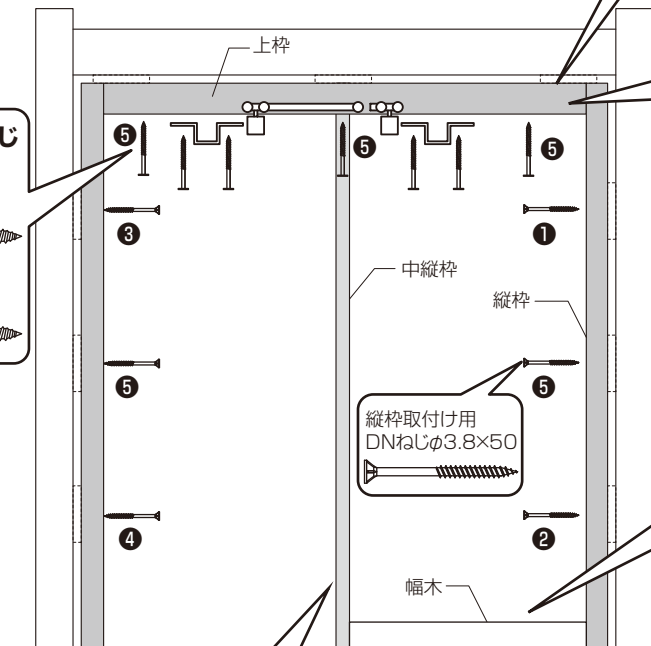
・ソフトモーション仕様



●鴨居固定ねじ

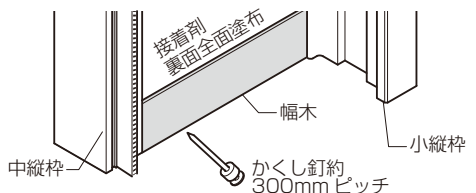
・ソフトモーション仕様

・ブレーキ仕様

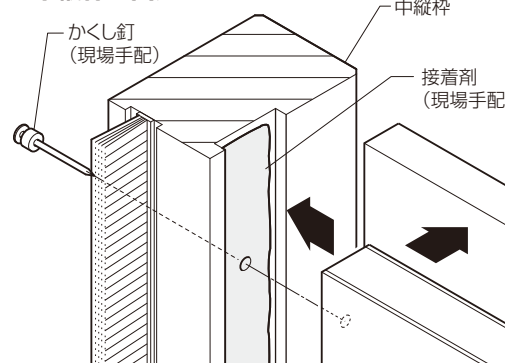


※図はL勝手

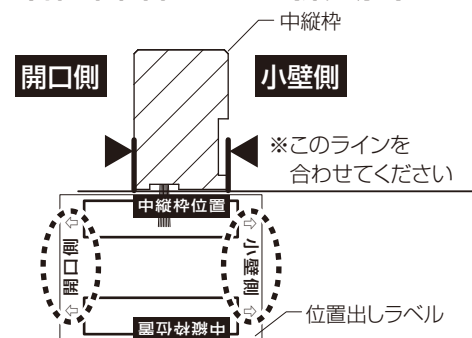
●幅木



●中縦枠の固定

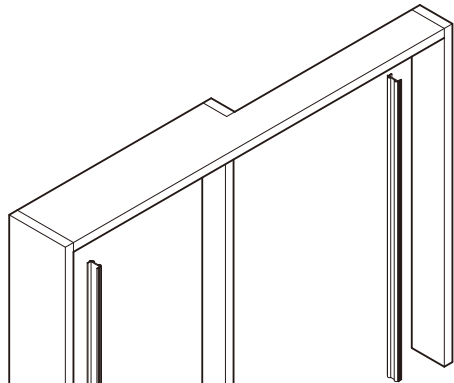


●下部の位置出しについて(床見切り)



6-1 床部の施工(ガイドピン)

- ①ガイドピンを床に指定の位置と向きに固定してください。
- ②戸当たりの長さを合わせてカットし接着剤を塗布して枠にはめてください。



ガイドピン

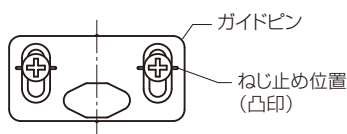
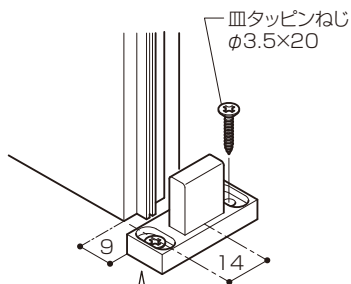
※図はL勝手の場合



●ガイドピン固定位置

L勝手

R勝手は対照となります。



凸部(ライン)の位置にねじ止めしてください。

6-2 床部の施工(床見切り)

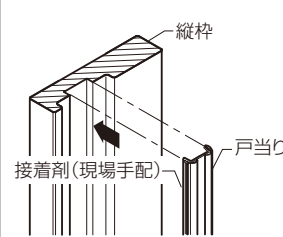
- ①戸じゃくりに合わせて、ガイドピン固定穴をさけて固定してください。
- ②床見切り用ガイドピンを固定してください。
- ③溝フタに当て木をあててプラハン等でたたき込んでください。
- ④戸当たりの長さを合わせてカットし接着剤を塗布して枠にはめてください。

■床見切りガイドピンセット

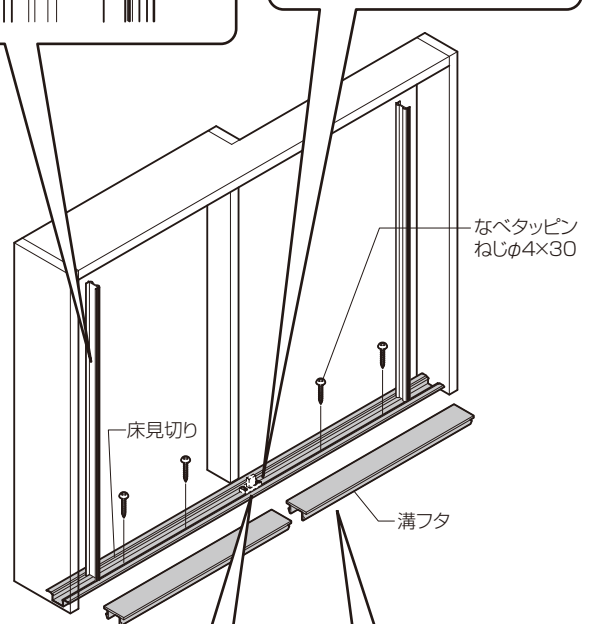
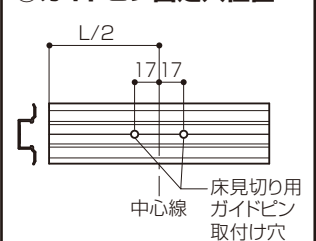
名称		入数
床見切り用ガイドピン		1
床見切り用ガイドピンカバー		1
取付け用 なべタッピンねじφ4×40		2

●戸当たり

長さを合わせてカット

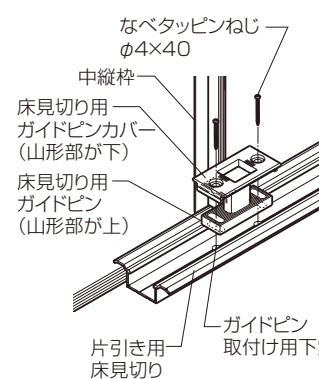


①ガイドピン固定穴位置

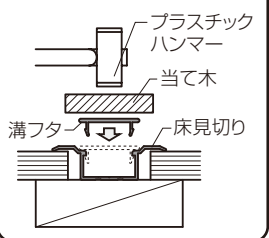


※図はL勝手の場合

②ガイドピンの固定



③溝フタの取付け

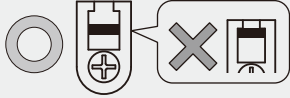


7 本体の吊り込み(ガイドピン、床見切り仕様)

▲ 注意

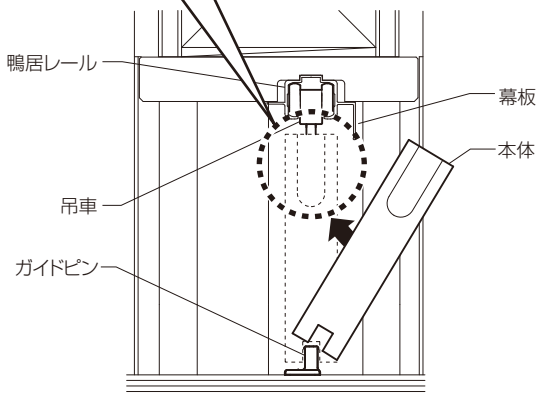
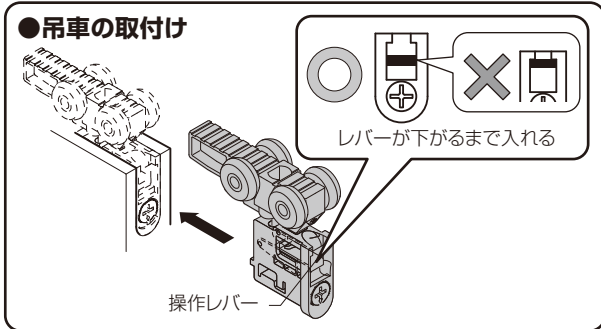


●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。扉が脱落するおそれがあります。



①本体をガイドピンにはめてから、持ち上げて吊車を最後まで押し込んでください。

●吊車の取付け



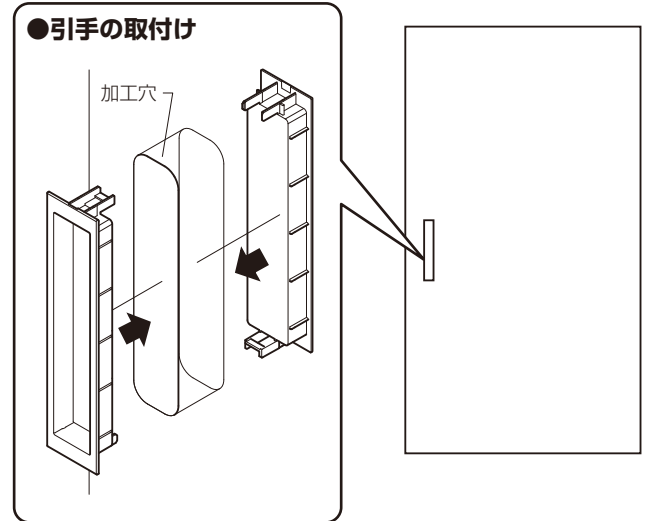
8 本体への部品付け(吊り込み後)

- ①仮組みされた引手は平行に引き抜いてください。
- ②引手を本体加工穴に押し込み固定してください。

■引手セット(別売り)

名称	入数
引手	2個

●引手の取付け



■オプション部品(錠・バーハンドル)の取付け

各オプションの取付け説明書を参照してください。

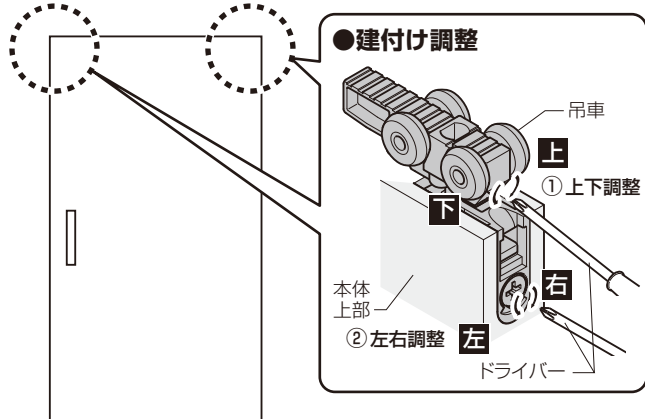
9 本体側の調整について

本体調整上のお願

- 本体と床のすき間が範囲から外れると以下のような不具合となります。(本体下部のはずれ、引戸下部のこすれ)

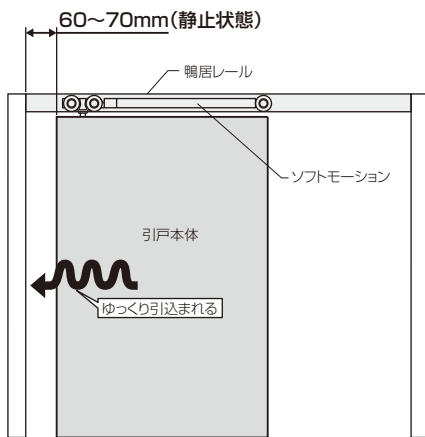
● 建付け調整について

- ① 上下調整 (+4mm, -1mm)
ドライバーで右に回すと本体が上がり、左に回すと下がります。
- ② 左右調整 (±2mm)
ドライバーで右に回すと本体が右へ、左に回すと左に動きます。



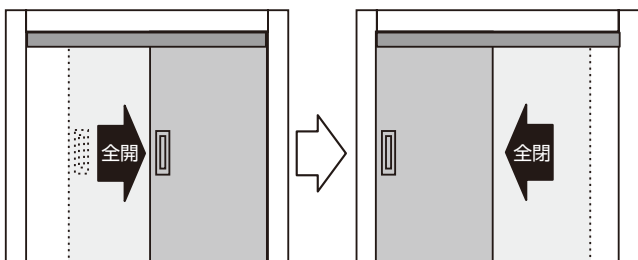
● ソフトモーションについて

- ・ 静止状態で枠から60～70mmで引き込みされます。
- ・ 開閉時は、本体重量、速度によって作動開始位置は変わります。減速して引き込まれたら正常です。



● ソフトモーションが機能しない場合(自動復帰)

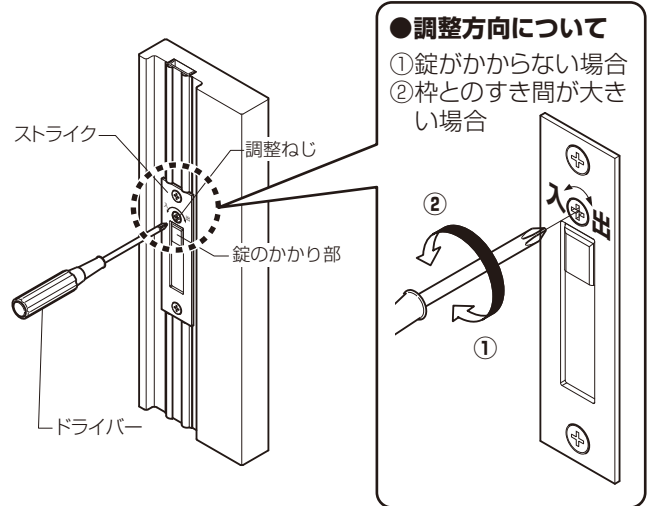
- ① 本体を全開してください。
 - ② 本体を全閉してください。
 - ③ 復帰するまで数回全開、全閉する操作をしてください。
- ※ 上記で復帰しない場合は、部品破損の可能性があります。



10 枠側の調整について

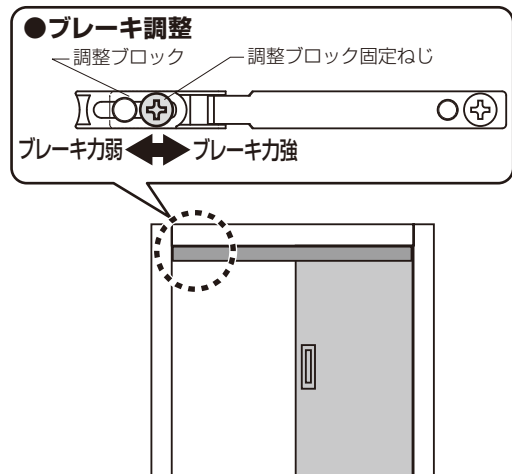
● 引戸錠のかかり調整

- ① 錠がかからない場合、右に回してください。
- ② 枠とのすき間が大きい場合、左に回してください。



● ブレーキ調整について

- ① 調整ブロック固定ねじを2回転までゆるめてください。
- ② 調整ブロックを動かして固定してください。

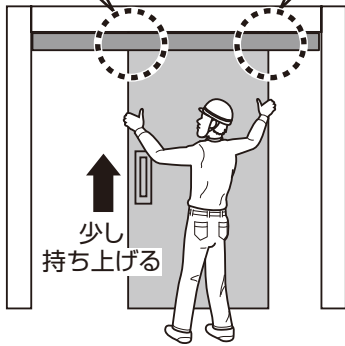
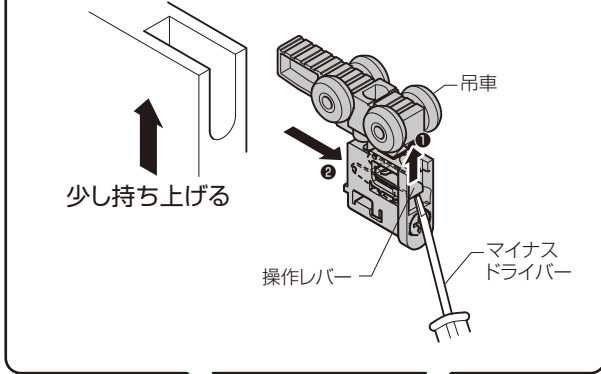


■ 本体・引手の取外し方法

● 本体の取外し方法

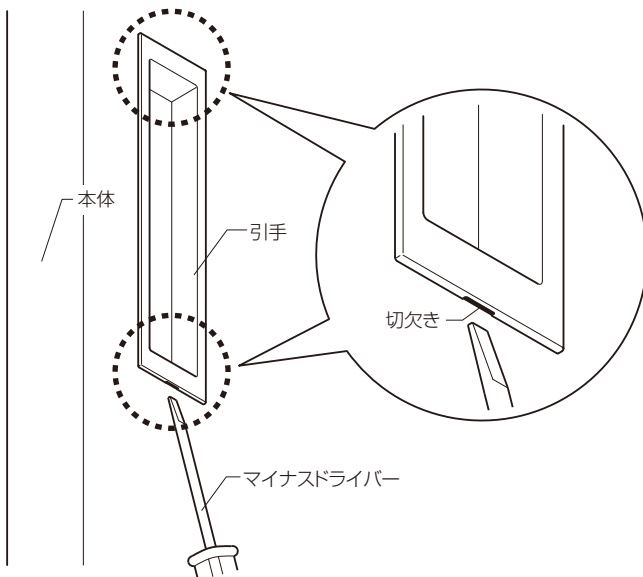
- ① 本体を少し持ち上げて吊車に荷重がかからないようにしてください。
- ② 操作レバーをマイナスドライバーなどで押し上げながら引き抜いてください。

● 吊車の取外し方法



● 引手の取外し方法

マイナスドライバー等を切欠きに入れて外してください。



■ 困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。
※製品ごとに合わせた情報を公開しています。



● スマホ画面



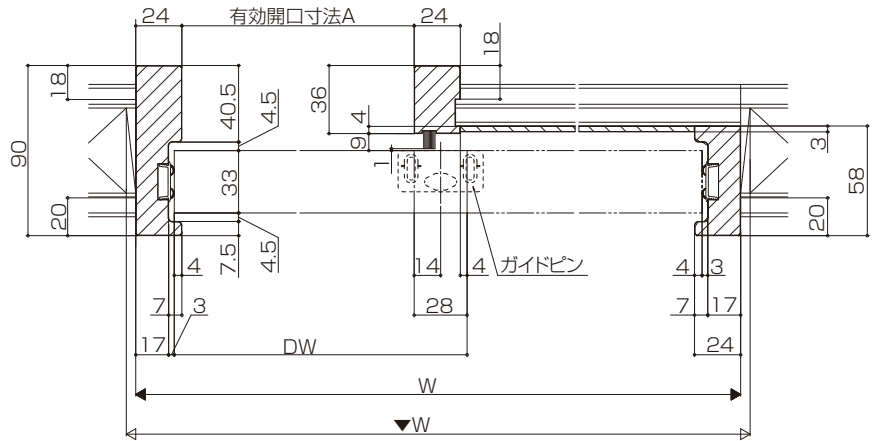
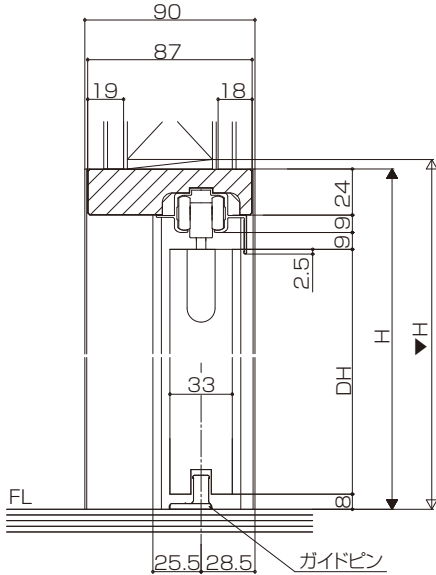
■納まり図

■引戸上吊方式 片引戸ユニット ノンケーシングタイプ

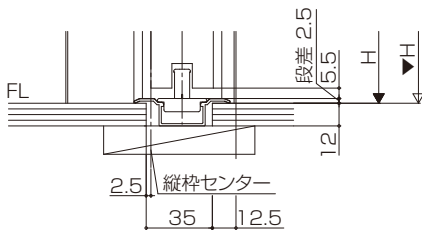
●縦断面図

●横断面図

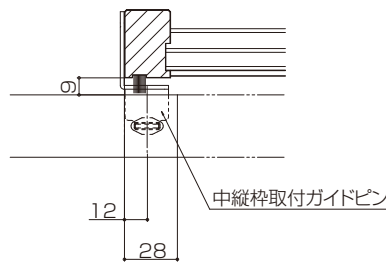
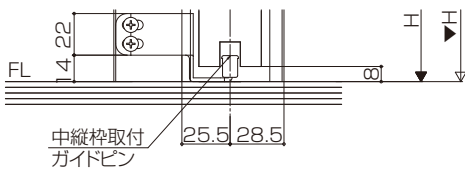
・床見切り材なし/ガイドピン使用



・床見切り材使用



・床見切り材なし/中縦枠取付ガイドピン使用



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W12(1188)	556
W13(1324)	624
W14(1454)	689
W16(1644)	784
W18(1824)	874

算出式: $A寸法 = (W - 76) / 2$

$DW = (W - 12) / 2$

両側バーハンドル取付け時

算出式: $A寸法 = (W - 76) / 2 - 92$

MEMO

MEMO
